

★幹事改選についてのお願い★

2022 ～ 2024 年度、幹事の改選を下記の要領で行いたいと思います。会の運営のために、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。なお、他薦自薦は問いませんので、会の運営に積極的に関わっていききたいという方は、ぜひお名前をお書きください。

記

- 1 投票締切日 2022年4月22日(金)
- 2 開票 締切日到着分までを次の通り公開で行います。
 - (1)日時 2022年4月23日(土)午後2時から
 - (2)場所 同好会事務局(しげい病院1階 倉敷昆虫館内)
- 3 投票方法

同封の投票用紙に、別紙会員名簿の中から最大10名まで選んで連記してください。投票用紙は、表書きのない内封筒に入れ、密封した物を同好会宛の表書きのある返信用封筒に入れ、締め切り日までに届くように郵送してください。切手は各自お張りください。返信用封筒の裏側には必ず住所、氏名、会員番号を明記してください。

(事務局)

2021 年末例会報告

2021年12月19日(日) 13時から17時 場所: はあもにい倉敷

15名の会員が参加し、2題の講演の後、5名の方がスライドでの発表をおこないました。最後に参加者からの近況報告がありました。今年も懇親会は中止しました。



(1) 講演会

「ニセマイコガ 分類と岡山県の記録」

寺田 剛 氏

ニセマイコガ科は、小型だが美しい種を含み、輪生刺を持つ後脚を背方に挙げる静止姿勢が特徴的なグループである。演者は本科の



分類を行い、これまでに3日本新記録属、30新種、6日本新記録種を報告した。現在、日本産の本科



には12属56種（6未同定種を含む）が知られている。岡山県における本科の記録は4属7種に留まっているが、潜在的には30種を超えると予想されるため、今後の調査により多くの追加記録が期待される。

(2) 特別報告

「昭和天皇に献上された岡山県産昆虫標本」

三宅誠治 氏

1930年に、岡山県に行幸される天皇陛下のために県下で児童生徒を動員して大規模な昆虫採集が行われましたが、その際に献上された標本が国立科学博物館で見つかりました。私達は、その標本の調査を行い倉敷自然史博物館研究報告に発表しました。その中には、県下初記録の蛾が6種あり、また、過去に長い間大珍品とされてきたフシキキシタバも含まれていましたが、もし当時その記録が世間に知られていたら一大センセーションを巻き起こし、この標本が各種の図鑑に載ったこと



でしょう。またヒョウモンモドキのラベルに「こへうもんもどき」と書かれていたことから、私は過去に岡山県内でコヒョウモンモドキとされた記録をどう扱うべきかを考察し、この標本は特例として、それ以外はウスイロヒョウモンモドキとするのが妥当と考えました。献上標本は、多くの情報と示唆を与えてくれた貴重な標本でした。

(3) 一般発表

「岡山県のトンボ2020、2021の新知見」

守安 敦 氏

岡山県でベニトンボが初めて確認されたのは、和気町の池で、水井颯麻さんにより撮影されました。その後、倉敷市や玉野市で見つかりました。また、8月26日に倉敷市の別の場所で撮影されていたことも分かりました。今後も本種の分布拡大を注視したいと思います。久しぶりに、オオキトンボを、倉敷市と備前市で採集してい



ます。これも、繁殖を

しているのかどうか今後確認が必要です。

2020年に見つかった津山市のコバネアオイトトンボは健在でしたが、今年は池の水が抜かれていませんでした。調査中のヒメサナエの分布やコサナエ属の分布も継続する予定です。来年は、ヒロシマサナエの新産地発見や幻のマダラナニワトンボを68年ぶりに見つけたいと夢を描いています。

「岡山県に侵入してきた外来昆虫」

山地 治 氏

岡山県の甲虫を紹介するスライドを5年ほど前に作ったが、その中で近く岡山県に入ってきてそうな外来種としてコルリアトキリゴ



ミムシ、ユーカリハムシ、ハラアカコブカミキリ、ヨツモンエグリゴミムシ、クビアカツ

ヤカミキリ（クロジャコウカミキリの名前で）の5種類のうち3種類がすでに岡山県内に侵入している。最近の県内での追加種は、多くの分類群において外来種とされている種が多くなってきている。



「岡山県内で撮影したチョウの生態」

中村具見 氏

ミドリヒョウモン♂の採餌行動や暗緑色型♀の産卵を観察し、



この♀から得られた卵を飼育した結果、5♀すべて暗緑色型が羽化した。次に、葉先で葉片を綴るなど隠蔽行動が顕著なスマナガシ4齢幼虫と寄生バエの行動、吉備高原に生息するヤマキマダラヒカゲの産卵とその飼育状況等について報告した。



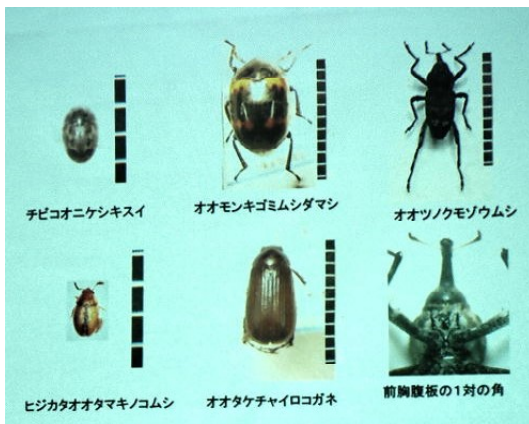
「総社市昭和地区の甲虫調査における県内初記録種」

岡本 忠 氏

最近昆虫の他県からの外来種が県初記録として話題になっているが、ほとんどがチョウ類やトンボ類などの大型でなじみのある類いのものや、小さくても色彩が目立つものがほとんどである。一方、話題にはならないが、県内での外来種ではない種が数多く発見されている。特に小型種の多い甲虫類では 1997 年に県内記録種数が 2723 種だったものが 2019 年には 3843 種となり、この 22 年間で 1.5 倍に増加している。



私は自宅周辺を含む総社市昭和地区の甲虫調査を 2006 年から実施しているが、県の



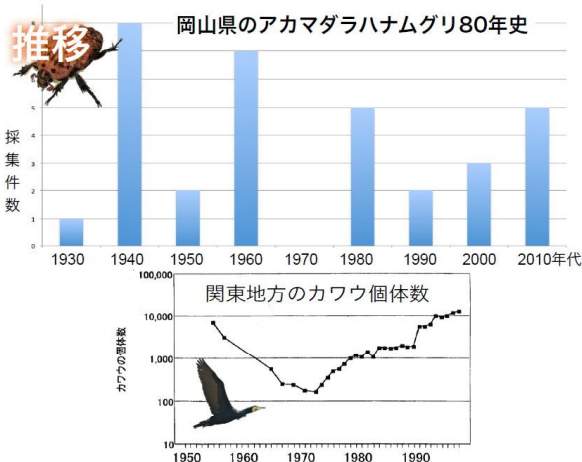
110 分の 1 の面積のこの地域で約 80 種もの県初記録種を確認している。どんな科に多いかやいくつかの種（オオツノクモゾウムシ、オオモンキゴミシダマシ、チビコオニケシクスイ、ヒジカタオオタマキノコムシなど）を取りあげて紹介する。

このように近年特に初記録が多いのは FIT など新しい採集法が用いられるようになったからではなかろうか。

「岡山県のアカマダラハナムグリ情報をご提供下さい！」

越山洋三 氏

演者は鳥の巣で繁殖するアカマダラハナムグリの過去80年間



の生息状況の推移を調べており、岡山県下の未発表の標本や目撃記録を探しています。目的は、カワウの個体数変動との関係を考察するためです。データをお持ちの方は是非ご連絡下さい (fielddata@bird.biglobe.ne.jp)。現時点では左図のような集計結果となっています。



＜近況報告＞

★久しぶりに例会に参加して刺激を受け元気をいただきました。旧知の方が顔を覚えてくれていて声をかけていただき感激です。現在滋賀県に住んでいて特に採集はしていませんが、いろいろな虫の絵が描きたくて水彩画を練習しています。(山砥司朗)

★ずっと、チョウの観察をしていましたが、昨年から主に玉野市のトンボの観察を始めました。週一回のペースで出かけていますが、毎回新しい発見があって楽しいです。

(加門昭徳)

★今年は毎年観察をしている池でベニトンボが見つかったことが最大の発見でした。秋以降は日中あまり動けておらず、夜間の糖蜜採集がメインです。備前市・和気町を中心に、20種以上の蛾が得られました。来年からは報文も書けたら良いなと思っています。

(水井颯麻)

★久しぶりに例会に参加し、皆さんの熱心な活動を拝見することができました。ありがとうございました。(越山洋三)

★今年は県中部の一カ所で調査していました。結果は近く報告されるものと思います。最初とつき難く思えるところがあったが、通年に渡り採集していくと、だんだん様子が分かってきて結局他地域と同じくらいの種数が出ました。採り難いとの先入観はあたらぬものです。(山地 治)

★ここ数年、いくつかの目標に絞るといふ採集スタイルに切り替えていますが、昨年ではあ

れやこれやと多くの虫を追いかけてしまい、結局どれも中途半端に終わってしまいました。年齢的な焦りでしょうか。今年はまだ少し腰を据えて取り組みたいと思っています。

(岡野貴司)

★昨年オオキバミイロカッコウムシという新種の甲虫が岡山から記載されました。その後兵庫県と韓国から追加記録されましたが、県内からの追加記録や本種の生態についても注目しています。

(武田雅生)

★伐採地に注目した採集やライトFITなどをやりました。県未記録種なども得られています。2021年は新種のオオキバミイロカッコウムシの追加個体は得られませんでした。来年以降も探し続けたいと思います。

(武田寛生)

★岡山県内で蝶の生態を観察しカメラで記録しています。今年はまだあまり調べていなかったタテハチョウやセセリチョウ等に注目して探しました。既に図鑑等に記述されている事柄も多いですが、野外で実見するとまた違った発見があります。(中村具見)

★昨年故郷岡山に戻ってきました。ニセマイコガ科が専門です。よく見ると綺麗で面白い蛾ですので、よろしければぜひ気に留めていただけると幸いです。せっかく変わったことをやっておりますので、他の小蛾類も含め、同定依頼等ありましたら是非お声がけ下さい。

(寺田 剛)

★2021年10月にはベニトンボが岡山県で見つかり、今後の分布拡大を注意深く見守っていくつもりです。会員の皆様からの情報をお待ちしています。来年も、ヒメサナエ、コサナエ属、ハネビロエゾトンボ、ミヤマサナエ、ヒロシマサナエ、マダラナニワトンボの調査に力を入れたいと思います。

(守安 敦)

(参加者名) 寺田剛、岡野貴司、山地治、岡本忠、大野聖子、山砥司朗、三宅誠治、織田明文、中村具見、水井颯麻、加門昭徳、守安敦、小橋理絵子、越山洋三、武田雅生、武田寛生 以上16名

倉敷昆虫同好会70周年記念行事

— 真備町・船穂町昆虫調査要項 —

※2021年が70周年でしたが、コロナ禍のため1年遅れの実施となりました。

1. 調査実施日時

- ・ 昼の昆虫調査を4月～10月に8回実施し、うち4回は夜間採集を合わせて行います。
- ・ 調査時間

9時30分～午後（終了時間はその日の状況によりますが、昼食は必要です）

ただし、7月と9月は猛暑の時間をさけるため、8時30分集合とします。

また、夜間採集を合わせて行う場合は、13 時集合とします。片方だけの参加でも構いません。

- ・調査場所は参加者を考慮してその都度連絡します。

2. 集合場所

マービーふれあいセンター駐車場のホール玄関付近（真備町箭田 40 - 1）

参加希望者は、遅くとも 3 日前までに岡野へ連絡してください。

(TEL : 090-2298-6733 mail : ta.okano@tw.drive-net.jp)

3. 灯火採集

真備美しい森のバンガローで 4 回実施

1 棟全体で 1 泊 5238 円、風呂・トイレ・エアコン付き。希望者多数なら研修棟の和室を借りることも可能ですが、コロナへの対応から少人数が適切かと考えます。

4. 具体的日程

- 4/16（土） 9 時 30 分集合、午後終了（昼のみ）
- 5/7（土） 9 時 30 分集合、午後終了（昼のみ）
- 5/28（土） 13 時集合、その後灯火採集へ（昼夜両方 片方でも可）
- 7/2（土） 8 時 30 分集合、午後終了（昼のみ）
- 7/30（土） 13 時集合、その後灯火採集へ
(昼夜両方、一泊調査会を兼ねる 片方でも可)
- 8/27（土） 13 時集合、その後灯火採集へ（昼夜両方 片方でも可）
- 9/3（土） 8 時 30 分集合、午後終了（昼のみ）
- 10/1（土） 13 時集合、その後灯火採集へ（昼夜両方 片方でも可）

5. 各自が任意で行う調査

全体で行う調査会のほか、会員各自の任意調査もお願いします。その際、下記の採集候補地を参考にしてください。詳細は岡野へ相談してください。

6. 採集候補地（真備町 12ヶ所、船穂町 1ヶ所 *印はお勧めのコース）

- ・伊與部山山頂西側～峠の地藏堂
- ・山谷池～妙見池～薬師寺方面～峠の地藏堂
- *たけのこ村～東廻りコース～ 馬入山
- *真備美しい森とその周辺（灯火採集予定地）
- *槇峠～高山（穴戸山神社）
- ・弥高山
- ・まきびさくら公園下の河川敷
- *七面宮～大平山
- *反古山山頂付近
- ・天狗山古墳

*船穂町 ふなおワイナリー周辺～愛宕山 ・鷲峰山 ・猿掛山（城趾）

7. 調査記録の処理

・各自で同定して、倉昆虫事務局に結果を報告してください。その際、次の項目を必須事項とします。様式はエクセルでお願いします。（ワード、手書きでも可）

目	科	和名	学名	調査日	場所	個体数	形態	目撃・写真	備考

注：個体数 → 可能なら♂♀も記入

形態 → 成虫でない場合は卵・幼虫・蛹等の区別を記入

目撃・写真 → 目撃か写真を記入

備考 → 生息環境について必要な場合はここに記入

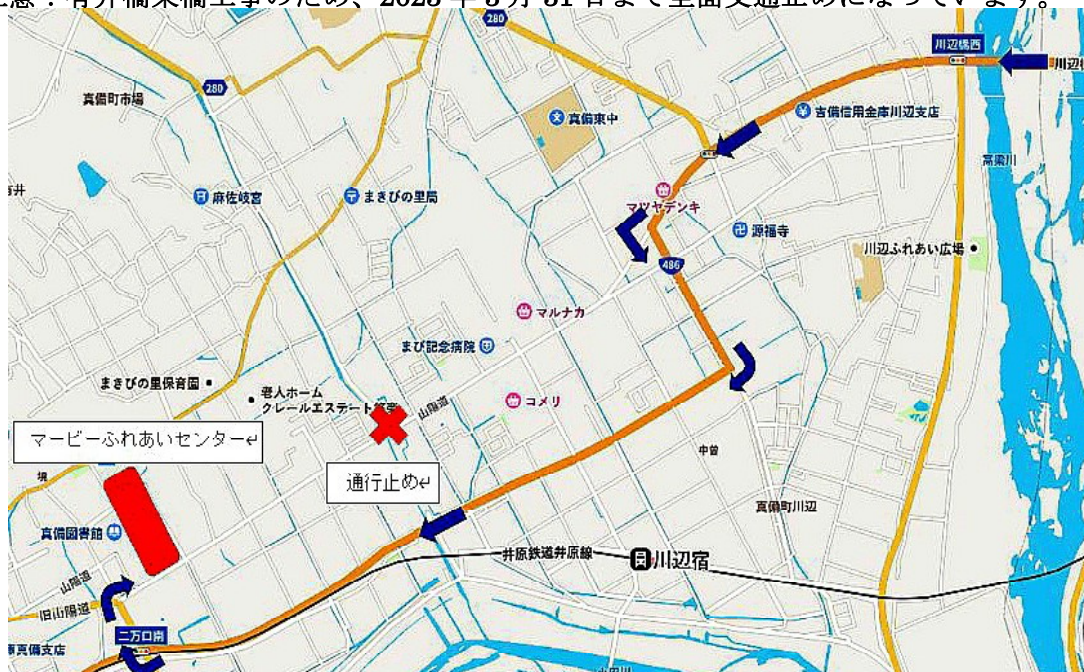
・夏の例会で同定会を設定しますので活用してください。必要に応じて専門家に同定を依頼します。

8. 過去のデータ提供のお願い

過去の真備町・船穂町の記録を収集しています。データをお持ちの場合は、2022年10月末までにご提供ください。

★マービーふれあいセンターへの経路★

注意：有井橋架橋工事のため、2023年3月31日まで全面交通止めになっています。



————— 倉敷市立自然史博物館の催しもの案内 —————

特別陳列「新着資料展<昆虫 澤田博仁コレクション>」

- ◆会期：2022年4月16日（土）～6月26日（日）
- ◆会場：自然史博物館3階特別展示室
- ◆料金：通常料金（一般150円，大学生50円，65歳以上・高校生以下無料）
- ◆展示内容：世界中から収集されたチョウや甲虫の大型美麗種および岡山県を中心とした日本産のさまざまな昆虫標本約16,000点。

お問い合わせ・お申し込み先：

倉敷市立自然史博物館 〒701-0046 倉敷市中央2-6-1

TEL：(086) 425-6037

（奥島雄一 倉敷市立自然史博物館）

【事務局より】

○会費納入について

会費納入については会則7条「(略)・・・会費2,000円を前納しなければならない。ただし、分納もこれを認める。会費滞納が2ヶ年以上継続し、通知しても連絡がない時は自然退会と見なされる。」とあります。自然退会扱いは滞納2カ年以上になっていますが、厳しすぎるので3カ年滞納で自然退会としています。年度末の「すずむし」発送の際、宛名シールに納入済み年度を記して通知に代えさせてもらっておりますので、お確かめの上お忘れなく納入頂くようお願いいたします。

○住所変更について

住所を変更される方は、必ずその旨事務局にご連絡ください。「すずむし」「KURAKON」はヤマト運輸のDM便にて送付しています。郵便局に転居届を出して安心されないようにお願いします。

[交換文献]

(2021. 11. 12～2022. 3. 26受付分)

駿河の昆虫	佐賀昆虫同好会
佐賀の昆虫 (50)	佐賀昆虫同好会
佐賀むし通信 (295)、(296)	〃
庄原市立比和科学博物館研究報告 (63)	庄原市立比和科学博物館

KORASANA (97)	久留米昆虫同好會
久留米虫だより (252)、(253)	久留米昆虫同好會
へりぐる (43)	瀬戸内むしの会
蛾類通信 (300)	日本蛾類通信
TINEA 26(2)	〃
とっくりばち ()	石川むしの会
Nature Study 67(11)、(12)、68(1)、(2)、(3)	大阪市立自然史博物館友の会
ホシザキグリーン財団研究報告 (25)	ホシザキグリーン財団
ホシザキグリーン財団研究報告 特別号(29)、(30)、(31)	〃
駿河の昆虫 (275)、(276)	静岡昆虫同好会
ちゃっきりむし (209)、(210)	〃
しぜんしくらしき(120)	倉敷市立自然史博物館友の会
比婆科学 (273)	比婆科学教育振興会
インセクト 72(2)	とちぎ昆虫愛好会
ゆらぎあ (39)	鳥取昆虫同好会
いよにす (1)～(37)	愛蝶会
すかしば (69)	山陰むしの会
いもむしだより(123)	〃
大阪市立自然史博物館研究報告 (75)	大阪市立自然史博物館
大阪市立自然史博物館 収蔵資料目録 第52集	〃
自然史研究 4(5)	〃
誘蛾燈 (247)	誘蛾会
みちしるべ (58)	岡山昆虫談話会

【寄贈文献】（昆虫関係）

(2021. 11. 12～2022. 3. 26受付分)

ふるさと尺の内公園 夏の昆虫観察ガイドブック	ホシザキグリーン財団
佐賀県産蜻蛉文献種別目録 特別報告第2号	佐賀昆虫同好会
2021年度ホシザキグリーン財団研究報告 環境修復プロジェクト報告書	ホシザキグリーン財団

<倉敷昆虫同好会 連絡先> 年会費 2,000円 郵便振替口座 01210-2-6927
〒710-0051 倉敷市幸町2-30 倉敷昆虫館内 倉敷昆虫同好会事務局
TEL. 086-422-8207(直通) FAX. 086-421-1991 E-メール kurakon@shigei.or.jp
開館：午前9時30分から午後5時まで（13:00から14:00は閉館）
休館日：月曜日（祝日・休日の場合は開館し、翌日が休館）、12月29日から1月3日
倉敷昆虫同好会ホームページ：<https://www.shigei.or.jp/kurakon/>